瀬谷中だより　10 月号

令和５年 10 月２日

<学校教育目標>社会で飛躍する子どもたちの育成

- ○　**自ら学ぶ力の育成と基礎学力の定着**　〔知〕
- ○　**他者を思いやり、礼儀や規律を重んじる態度の育成**　〔徳〕
- ○　**生命を尊ぶ健康な心と体の育成**　〔体〕
- ○　**社会に貢献し、様々な人と関わり合う態度の育成**　〔公・開〕

発　行　横浜市立瀬谷中学校
校　長　市　村　美　穂　子
住　所　瀬谷区中央５－４１
TEL 301-0096　FAX 301-0099

一人ひとりが主役・ステージで輝こう

校長　市村　美穂子

今年の夏は本当に暑くて、秋の到来など想像もできなかったほどでしたが、気付けば朝晩はずいぶん過ごしやすくなりました。思えば5月から実に4か月間余り、ずっと熱中症の心配をしてきました。やっとそこから脱出できると思いきや、心配の対象が今度は感染症の流行に入れ替わりました。20 日に予定されている合唱コンクールが何とか無事に開催できるよう、祈る思いです。

９月 24 日（日）、第２回輝きフェスティバル（瀬谷駅北口駅前広場活用推進協議会主催）に、本校吹奏楽部が出演の機会をいただきました。瀬谷駅のすぐ前の広場で、しかもイベントの締めくくりを飾るということで、多くの観客が集まる中、部員の生徒による司会や、一年生のかわいいダンスも交えた楽しいステージとなりました。駅前広場は大いに盛り上がり、イベントの最後の盛り上げ役としての役割を果たし、多くの観客から温かい拍手をいただいている様子を見て、瀬谷中の生徒たちが立派に地域の役に立っていることに誇らしさを感じました。隣では瀬谷区長さんがご覧になっていましたが、「中学生のパワーはすごいですね！」と目を輝かせていらっしゃいました。

さて、今日からいよいよ約一か月に渡る文化祭月間がスタートします。感染症による欠席が増えていたため、例年よりスタートが少し出遅れた感がありますが、ようやくクラスの合唱練習が本格的に始まり、美しい歌声が、校舎のここかしこから聞こえてくるようになりました。

各教室からの歌声が混じり合った響きが、私はとても好きです。これから各クラスでいろんなドラマが繰（く）り広げられることでしょう。担任だった頃は、「男子がふざけて歌ってくれません（怒）！」「〇〇さんが、指揮者のくせに朝練に来ません!!」など、リーダーの生徒が相談に来て、何度も一緒に作戦を考えたものです。クラスで選んだ曲を、何度も何度も音取りしたり、録音を聞いて改善点を出し合って練習計画を立てたり、歌詞に込められた意味を話し合ったり。時には、ふざけて練習をぶち壊す生徒を、真面目に練習したい生徒が取り囲み、泣きながら「歌ってよ!!」と訴えていたこともありました。今でも自分のクラスで歌った曲を耳にすると、その時のクラスの生徒の顔やエピソードがよみがえってきます。担任を離れて 12 年。今は、自分のクラスの合唱練習に付き合って、悪戦苦闘（あくせんくとう）している担任たちの後ろ姿を、羨（うらや）ましく眺めています。

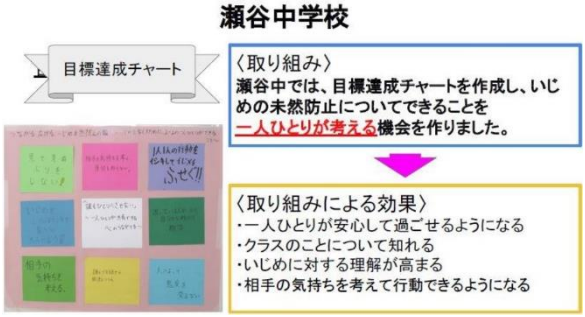
さて、生徒の皆さん。4月からこれまで、「生徒が主役の活動、行事づくりをしてほしい」と話してきました。指揮者や伴奏者、パートリーダー、そして学級委員は、最初に「チャレンジしてみよう」と引き受けた時の気持ちを思い出し、より良い合唱づくりのために、クラスの中で積極的にリーダーシップを発揮してください。それ以外の皆さんも、「大きな声を出せた」「キーボードの準備を手伝えた」等、クラスのためになる取組を頑張ってみてください。これから約 3 週間の合唱練習、演示発表に向けた練習の中で、自分の役割を果たし、仲間と取り組む中でちょっぴり成長し、そして終わったあとに、自分と仲間の成長を互いに讃え合える、そんな文化祭になるといいなと思います。

「花様年華（かようねんか）」のスローガンのもと、体育館のステージで輝いている一人ひとりの姿を、心から楽しみにしています。

横浜子ども会議

８月３１日（木）に瀬谷区役所で、「瀬谷区横浜子ども会議」が開催されました。今年度、瀬谷小、上瀬谷小、大門小、瀬谷中の４校が所属する瀬谷中ブロックでは、「誰も一人にさせない～一人ひとりが共有できる心のつながりを～」をテーマにしました。それぞれの学校が計画を立て、今年度行う活動の資料をまとめ、瀬谷区の代表者を前に、発表を行いました。

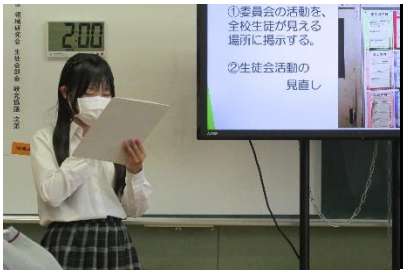
瀬谷中からは、生徒会本部の岩﨑莉琉さん（二年生）が参加をし、小学生と一緒に発表を行いました。中学生として、小学生を導き、発表をしたり、討議をしたりしました。これから、各クラスで作った「目標達成チャート」を達成できるようにしましょう。



五校交流会

９月６日（水）に下瀬谷中学校で、「五校交流会」が開催されました。今回は瀬谷区内の五つの中学校の生徒会本部役員が集まり話し合いました。「広げよう、SDGs の輪！」を今年のテーマとして、各校がどのような取り組みを行っているか発表しました。

瀬谷中学校からは生徒会本部の山田杏さん（３年生）と岩崎莉琉さん（２年生）が参加し、瀬谷中の代表として発表を行いました。また、他校の発表を聞き、他校で行われているSDGｓに関わる取り組みを学びました。各校の発表が終わった後は質疑応答の時間があり、意見交換が盛んに行われました。今後も他校と協力しながら、より良い瀬谷中になっていくと良いですね。



♪文化祭が始まります♪

９ 月の朝会では、文化祭のスローガンを発表しました。今年度の文化祭スローガンは、「花様年華」 の四字熟語に思いを込めました。このスローガンは５月に全校生徒にアンケートをとり、決定しました。「花様年華」とは、『人生で最も輝く瞬間、青春』という意味があり、この文化祭が、瀬谷中学校の生徒全員にとって過去最高のものとなるように、また、誰もが輝ける文化祭になるようにという願いが込められています。

花様年華～過去最高の　輝ける瞬間～

瀬谷中学校の文化祭は、合唱コンクール・演示部門・展示部門の三つの部門に分かれています。展示発表は、夏休みに製作した美術の作品や理科の自由研究、美術部や文芸部の作品、レポート課題等様々な作品で校内を彩ります。

演示発表は、文化部の日頃の成果を示す校内発表の場です。今年度は文芸部、合唱部、演劇部、吹奏楽部の部活動発表や、修学旅行の事後学習のスライド、国際平和スピーチ等の学習の成果も発表します。

合唱コンクールは、各クラスで合唱練習をし、一つの作品を作り上げます。一年に一度クラスで一致団結し、協力し合う合唱コンクールに、どのクラスも今からやる気満々です。今年度の開催は 10 月 20 日、体育館開催になります。

実行委員長の言葉

文化祭実行委員長 ３年２組 渡邊航大

今年の文化祭は私たち ３ 年生にとって中学校生活最後の文化祭になります。どのクラスも、どの学年も後悔のないように全力で取り組んでほしいです。10 月より文化祭が始まります。校内に掲示される展示物は、部活動や教科で行っている学習の成果になっています。周りにいる友人の見えない一面を見ることができるかもしれません。この機会に意識してよく見てみてください。

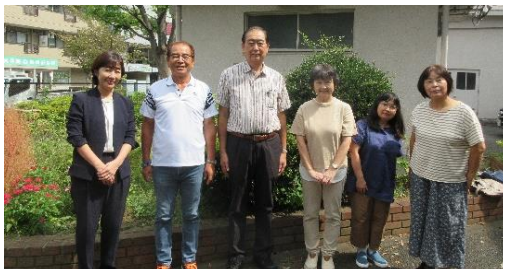
演示部門では文化部の発表や、校外学習の成果を発表します。昨年度から演示部門は体育館で行っていますが、日頃見ることのできない活動を見ることができ、とても盛り上がりました。今年度もそんな演示発表にしていきたいです。

最後に各クラスが １ か月練習に励む合唱コンクール。練習は ９ 月 19 日から始まりました。パートリーダーや指揮者・伴奏者を中心に自分たちの力で練習を進めていきますが、時には意見の食い違いがあったり、悩んだりと友だちとぶつかることもあります。しかしそれもみんなが真剣にクラス合唱に取り組んでいるからこその出来事です。合唱コンクール後は「楽しかった！」「どの演奏も一番！」「みんな頑張った！」と互いを称え合い、みんなで達成感を味わうことのできる場になるので、その日に向けて一致団結して頑張りましょう。

私たち文化祭実行委員も、今年度の文化祭を今まで以上に盛り上げていきたいと思っていますので、よろしくお願します。

瀬谷中学校地域学校協働本部（瀬谷中支援隊）

学校のニーズに応じてボランティアを集めたり、地域からの要望を調整して学校に伝えたりする中で、学校と地域との協働を推進する役割を担っています。本年度は生徒会スローガン、昨年度は関東大会・全国大会出場の横断幕の作成などお力をいただきました。10 月は、合唱コンクールや拡大ハマロード・サポーターにご参加いただきます。これからもお世話になります。よろしくお願いいたします。



令和５年度　全国学力・学習状況調査　瀬谷中学校の結果と分析

１．学力向上の取組と教科に関する調査結果の概要と改善のための手立て

＜教科別平均正答率＞

	国 語 （ ％ ）	数 学 （ ％ ）	英 語 （ ％ ）	英語（話すこと）（%）
瀬 谷 中 学 校	６７	４８	４５	９
神 奈 川 県	70	５２	５０	
全 国	６９	５１	４５	１２

＜国　　語＞

全般的に全国の平均正答率を下回っている。中でも「書くこと」の設問で、「自分の考えが伝わる文章になるように根拠を明確にして書く」ことを求めた問いに対して、資料の中から適切な情報を取り出し、根拠を明確にして文章を書くことについて課題が見られた。自分の考えが確かな事実や事柄に基づいたものであるかを確認した上で、考えを支える根拠として示す事例等を検討し、考えと事例等との関係を明確にして記述できるように指導していきたい。

＜数　　学＞

全般的に全国の平均正答率を下回っている。本校の傾向として、事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明するという記述型の設問に特に課題が見られた。一方で、無答率が低く、正答が出なくても自分なりの考えを述べるよう改善していることも伺えた。学んだことや身に付けた知識を説明したり表現したりする場面を、授業の中に設定してきたことの成果が出始めていると思われる。これからも継続して指導していくとともに、考える力の基礎・基本となる知識・技能の定着にも力を入れていきたい。

＜英　　語＞

全般的に全国の平均正答率を下回っている。特に「記述式問題」の「書くこと」、「話すこと」に課題が見られる。また、「英文を読んで内容を読み解く問題」においても平均正答率が低くなっている。授業の中ではコミュニケーション活動を多く取り入れるともに、話すだけでなく書いて表現する力も高めていきたい。

２．質問紙調査の結果の概要と改善のための手立て

「学校に行くのは楽しいと思う」や「友達関係に満足している」や「普段の生活の中で幸せな気持ちになる」という設問に対して前向きな回答をした生徒が、県や全国の平均を大きく上回った。一方で「今住んでいる地域の行事に参加していますか」という設問に対して“当てはまらない”と回答した生徒が半数近くに上り、県や全国の平均よりも高かった。「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」の問いに対して“当てはまる”と回答していた生徒が県や全国の平均よりも多くいたことから、地域のために何かをしたいという意識が見受けられる。地域で活躍できる瀬谷中生を目指し、拡大ハマロード・サポーター等地域と触れ合う活動に取り組んでいきたい。